

# 最後はやっぱり神頼み？ 合格祈願、岩津天神

# 31



## MESSAGE | 推薦文

「絶対合格！」ここ岩津天神<sup>いわつてんじん</sup>は全国から参拝者が訪れる受験の神様です。我が家もかつて息子の受験祈願に。浪人の重圧は大きく、文字通り藁をもすがる思いでした。志望校も氏名も書く位の覚悟がなければ天神様も聞いてくれないだろうと、黒々と墨書<sup>ぼくしょ</sup>したのを覚えています。かいあってか合格できましたが、娘に至っては3回もお世話になる始末。(つまり2浪…)。毎年<sup>ばんじさいおう</sup>の初詣で真剣な祈りの姿を見る度、合否いずれでも、「人間、万事塞翁が馬<sup>うま</sup>」、かの若者の人生に幸多かれと願います。

## LOCATION | アクセス



推薦人：ごま吉  
 居住地：岩津町  
 撮影場所：岩津町  
 撮影日時：平成27年11月29日午前8時



# 子供たちの笑顔も含め ぶどう狩りの景色

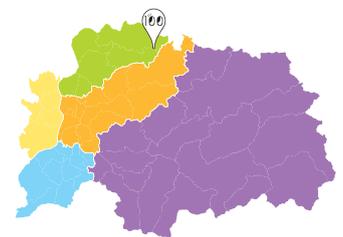
# 49



MESSAGE | 推薦文

中山間地に位置する駒立。戦後、米にかわる農産物を作るため、ぶどうの苗木を植えたことがぶどう狩りの始まりだそうです。不便な時代での一からのスタート。現代では考えられない苦労があったようです。ただ亡くなった祖父母の話からは、苦労というより新しく開拓していく心の希望や明るい活気を感じました。次の世代の幸せを願い託された、駒立のぶどう狩り風景。ぶどう狩り風景と山の自然、そして沢山の笑顔も含めぶどう狩りの景色だとおもいます。

LOCATION | アクセス



推薦人：中根りえ  
 居住地：桑原町  
 撮影場所：駒立町  
 撮影日時：平成27年10月15日午後2時



龍を眺<sup>みる</sup>感

56



MESSAGE | 推 薦 文

龍伝説の豊富な岡崎山間地、特に青木川<sup>だこう</sup>の蛇行に沿ってそびえる峰々は八ヶ町村に余る30kmに延々と一望でき、四季折々の彩りと刻々と変化する雲の織りなす様は龍の現れが感じられる風景です。またこの写真を撮影した場所には「家康公<sup>よしのり</sup>鎧掛<sup>やくよけ</sup>の松、厄除<sup>いぢりつか</sup>松、一里塚の松、一本松」と近隣の各集落から親しまれるシンボリックな松がありました。その松は既に倒れてしまいましたが、跡地に芽吹く松の若木をこの節目の年に大切に見守りたいです。

LOCATION | アクセス



推 薦 人：小林 良佐  
 居 住 地：滝町  
 撮 影 場 所：真伝町  
 撮 影 日 時：平成27年11月3日午後



# 南の門の真ん中に岡崎城も 絵のような♪ [ビスタライン]

72



## MESSAGE | 推薦文

私が通っていた大樹寺小学校の校歌にタイトルの言葉があり、今でも歌えます。小学生だった頃、この運動場で元気よく友達と走り回っていた事を懐かしく思います。「ビスタライン」の意味を知ったのは大人になってからですが、家康公の話はよく聞かせてもらいました。岡崎は近すぎるほど身近に、歴史と伝統があり、気づかず過ごしてしまうことが多いのですが、今思えば多くの先人の御加護を頂いている場所だと、ありがたく思います。

## LOCATION | アクセス



推薦人：河内 直樹 (PTA)

居住地：鴨田本町

撮影場所：鴨田町

撮影日時：平成27年11月21日午前10時



# 伝統が受け継がれる 落ち葉スキー

# 75



## MESSAGE | 推薦文

岡崎北部に秋の季節を待つ児童がいます。恵田小学校の落ち葉スキーです。昭和32年、授業のスポーツにと考案されたのが当時の校長先生です。使用する葉は、松葉を1年貯蔵後に初心者コース「メジロ」中級コース「カワセミ」上級コース「ハヤブサ」。3コースに敷きます。板は地元の竹と古木スキー板はいゆを塗り。ヘルメット、手袋着用、ストックはなし。平成19年で会場50周年。検定基準7級～5段まで。毎年テレビ局が取材に来ます。永久保存。

## LOCATION | アクセス



推薦人：柴田 昌代  
 居住地：恵田町  
 撮影場所：恵田町  
 撮影日時：平成26年11月



しんぶくじ  
紅葉シーズンの真福寺

76



MESSAGE | 推薦文

当山の紅葉は、11月下旬から12月初旬ごろがおすすめです。幼少期に祖父に連れられて日参した思い出があります。当時は伊勢湾台風の前で境内には松・杉の大木でうっそうとした山寺の趣がありました。それらは台風で倒木してしまいましたが、その後に植えられた樹木も数十年の月日を経て当時の姿に戻りつつあります。東海の名刹真福寺を訪れる参拝客も多く、森閑とした佇まいを後世の人々に伝えられたらと思います。

LOCATION | アクセス



推薦人：加藤 八郎  
 居住地：真福寺町  
 撮影場所：真福寺町  
 撮影日時：平成26年11月28日午後2時



# 1300年村人を見続けた 奥山田のシダレザクラ

# 87



## MESSAGE | 推薦文

じとうてんのう おてう  
1300年前に、**持統天皇**の御手植えといわれる奥山田のシダレザクラは、永い間、山里に春の訪れを告げてきた**エドヒガンザクラ**のしだれ桜です。地元の方々の保存活動で、柱で枝が支えられ樹高が17mもあり、淡い紅色の花が流れ落ちるように咲く姿は**圧巻**です。岡崎に住んで最初に見に行った桜です。いつまでも地元の人々に愛され続け、春の訪れを多くの人に告げて欲しいものです。

## LOCATION | アクセス

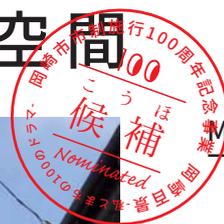


推薦人：夏目 安孝  
居住地：上地二丁目  
撮影場所：奥山田町  
撮影日時：平成27年3月30日午後4時



# 廃線となった 名鉄挙母線跡に広がる空間

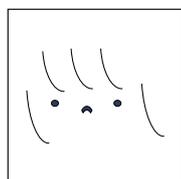
# 102



MESSAGE | 推薦文

かつて上挙母から岡崎井田まで走っていた名鉄挙母線をご存じですか？幼い頃のおぼろげな記憶ですが黄色のかわいい電車が大樹寺駅に止まっていた事を覚えています。多くの通勤客を乗せて活躍していましたが、自動車の普及に伴い廃線となってしまいました。その線路跡が鴨田町に約400メートルの直線空間として残っています。今は地元の方々が遊歩道として活用しているそうです。この遊歩道に電車にちなんだ名前をつけ、岡崎の北部に電車が走っていた事を忘れないでゆきたいと思います。

LOCATION | アクセス



推薦人：中山 園美  
 居住地：松橋町  
 撮影場所：鴨田町  
 撮影日時：平成27年4月29日午後1時



# 神様に会える於新造 (西阿知和町) の山並み

# 104



## MESSAGE | 推薦文

おしんぞう 於新造古墳は、4世紀後半に造られた市内最古の帆立貝式古墳です。残念ながら今はぶどう畑になっています。古墳を眺めた古代の道も、近世に行われた青木川の川筋変更により、なくなりました。墓のちはやのみこと主である知波夜命も正史には出てきません。

ないない尽くしの於新造古墳ですが、神の語源は「隠り身」、見えないのが当たり前です。昔々の川岸から、昔々のそのまた昔の於新造の山並みを見れば、神サマに会えるかもしれません。

## LOCATION | アクセス



推薦人：かめ  
居住地：明大寺町  
撮影場所：西阿知和町  
撮影日時：平成27年5月6日午前8時

# 神様がつけた足跡

ごんげんいわ  
[権現岩]

# 105



## MESSAGE | 推薦文

日本の神様は姿形がない。神様はその依り代である山や岩や樹木にとどまるのみで、形としてあらわれることはなかった。平安時代になって本地垂迹ほんちすいじゃくによって、いつでも逢いたいときに逢えるようになった。古来より祈り続けた怖ろしい火の神、迦具土さまかぐつちが、真福寺しんぷくじのやさしい水体薬師様すいたいやくしとして立ち現れることになった。

私たちを救いくださる薬師様が、強い権現さんとなってこの世の悪を懲らしめて下さるのである。権現さん乗った神馬の蹄跡、ありがたや。ありがたや。

## LOCATION | アクセス



推薦人：かめ  
居住地：明大寺町  
撮影場所：真福寺町  
撮影日時：平成27年9月14日午前9時



# 神様が作った岩

みそかすいわ  
[味噌滓岩]

# 106

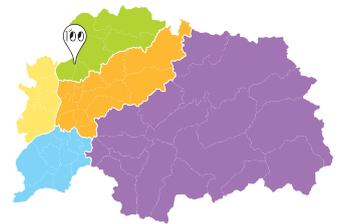


## MESSAGE | 推薦文

岡崎の歴史に華を添える長者伝説「あさひ長者」のお話。助けた  
しろへび  
白蛇の言いつけを守り一生懸命働くと、みるみる豊かになり、使用人の  
かす  
味噌汁の滓が、大きな岩となったそう。

248号線沿い、上里にある花崗岩の塊がそれである。現在は、開発  
いなりどう  
で土中に埋められ、稲荷堂が立てられている。行き交う車の下で、味  
噌からできた長者の岩は静かに眠っている。

## LOCATION | アクセス



推薦人：かめ

居住地：明大寺町

撮影場所：上里町

撮影日時：平成27年9月14日午前8時



# 足利尊氏も見た水郷池

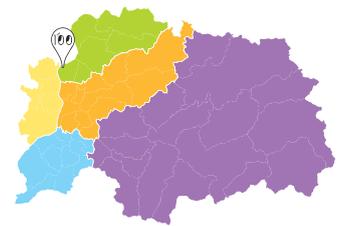
# 107



## MESSAGE | 推薦文

芝生の広場に噴水の上がる水郷公園は、人気のキャンプ場ですが、その歴史は古く、『太平記』には「上の瀬」の名で出てきます。史跡あしかがたかうじの足利尊氏の宝塔まであります。昭和11年（1936）作成の地図には、岩津学区唯一の池として記されています。ちなみに、昭和30年代の岩津小学校1年生の遠足は「大門池」でした。今も昔も人々の大切な場所です。

## LOCATION | アクセス



推薦人：かめ  
 居住地：明大寺町  
 撮影場所：大門町  
 撮影日時：平成27年9月28日午前11時



# 神様の石舞台

# 108



## MESSAGE | 推薦文

市北部青木川兩岸の阿知和と百々地区には、古墳時代終末期の古墳が多数存在しました。しかし、昭和30年代の農地造成により、今は古墳の姿を見ることはできません。ただし、不思議な字名「乙力」が残りました。「おつ」は、「異なること、奇なこと」この場所が特別な所であることを示しているとされます。もちろん石室<sup>せきしつ</sup>はなく、巨石が石舞台のように露呈<sup>ろてい</sup>するのみですが、月の光の美しい宵<sup>よい</sup>は神様の「おつ」<sup>まいすがた</sup>な舞姿が見えるかもしれません。

## LOCATION | アクセス



推薦人：かめ  
 居住地：明大寺町  
 撮影場所：東阿知和町  
 撮影日時：平成27年9月28日午前9時